

静中静高 関東同窓会 会報

静中静高関東同窓会
会報 第95号
2023年5月25日発行
静中静高関東同窓会
会報編集委員会



目次

2頁	総会申込み案内 3・4頁 総会議案
5頁	異業種交流会報告 6頁 著書紹介(左記参照)
7頁	「永訣は日々の中にあり」見城宗忠(90期)
8頁	「時代考証アラカルト」若松木虔(81期)
9頁	「共学事始め 女子一期生に取材」清水雅尚(77期)
10頁	「たかが同窓会、されど同窓会」浦田彰(71期)
10頁	「鎌倉・建長寺の13人」日下淳(92期)
11頁	岳南球友会 松永啓(94期)、静岡県東京事務所
12頁	編集後記拡大版 14・15頁 年会費抛出者一覽

2023年7月1日(土)

4年ぶりの懇親会開催

新・原点復帰

100期 恒光隆法

2023年度静中静高関東同窓会総会は、昨年と同様のハイブリッド形式に加え、4年ぶりの懇親会も開催いたします。コロナ禍において開催が見送られた懇親会を開催することで、総会・講演会・懇親会・WEB配信の四本柱で原点復帰と新しい総会のあり方をご提案できたらと思います。

久しく会えなかつた同窓生同士の再会を楽しみ総会にすべく、幹事期一同、準備を進めています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

講演「自ら道を切り拓く。起業家人生と起業のススメ」

100期 久保田明史

私はいわゆるシリアルアントレプレナーです。31歳の時に起業して以来、5社を立ち上げ、今も新規事業にチャレンジしています。

この26年間、倒産の危機、社員の大量退職など大変なことがありました。しかし、それに勝る喜びは多く、起業して良かったと心から思っています。本講演では経営の裏話を交え、皆さんが元気になるようなお話と、人生100年時代の選択肢のひとつとして起業のノウハウについてお話しさせていただきます。



久保田明史(くぼた あきふみ)

日時…2023年7月1日(土) 13時(開場12時半)
場所…日本プレスセンタービル10階ホールおよびWEB

※議案資料(本会報)をご持参ください。

議題…一 号議案 2022年度事業報告・決算報告・監査報告
…二 号議案 2023年度事業計画・予算計画

企画…母校野球部紹介(静高野球部後援会)
講演…総会終了次第 講演者…久保田明史氏(100期)
演題…「自ら道を切り拓く。起業家人生と起業のススメ」

懇親会…講演終了次第(16時半終了予定)
参加費…5000円 当日、受付にて集めます。
大学生無料 40歳未満の期(118期以降) 3000円

竜南小、安東中、静岡高(100期)、九州大学経済学部、慶應大学院健康マネジメント科修了。(株)神戸製鋼所、電子機器メーカー勤務を経て、(株)リンクマネージを起業。国内初のECのASPとして注目を浴びる。その後、アイスリーメディアカル(株)を設立し、代表取締役社長に就任。現在、統合医療普及、医療費削減・健康経営実現のヘルステック事業などを推進。国家課題の解決に尽力中。医療経営コンサルタント。

会場案内図



都営三田線「内幸町」A7
千代田線・日比谷線「霞ヶ関」C4
丸の内線「霞ヶ関」B2
JR「新橋」日比谷口

95号は本をフィーチャー 本の世界へようこそ

6・7頁

- 『絵本で読みとくSDGs』中川素子(77期)
- 『香港街角ノート』小野尚美(98期)
- 『Reading Japanese Politics in Data』永田町政策マップ』宮坂正太郎(117期)
- 『殺割る音』上村里奈(118期)
- 10頁 『遺すもの』浦田彰(71期)
- 12頁 同窓会事務局所蔵の私家版紹介
- 『古書店アットワンダーJG取材メモ』会報編集委員会・見原万智子(95期)



講演紹介・用語についての補足

【シリアルアントレプレナー】(Serial entrepreneur) 日本語で「連続起業家」と訳されている。企業を立ち上げてそれを売却・譲渡し、得た利益や人脈を生かして次の企業を立ち上げるサイクルを繰り返す起業家のこと。

【EC】(Electronic Commerce) いわゆる「ネット通販」のこと。物やサービスの売買、契約、決済などが実施でき、実店舗を持たずとも事業展開が可能。

【ASP】(Application Service Provider) アプリケーション・サービス・プロバイダの略で、今でいうところのクラウドサービスのこと。(久保田明史記)

同日開催 古書コミュニケーション 3年半ぶりに古本市やります

総会のスタート30分前(12時半)より、受付近くで古本市を開催します。以前はバーコード付きの本に限定しておりましたが、何でもお持ちください。冊数も不問です。皆さまからご寄付いただいた本を後日、古本業者(バリユーブックス)に買い取っていただき、一年間の全収益を図書カードに換え、翌年度に母校図書室に贈っています。図書室には関東同窓会のコーナーが常設されており、購入した本の紹介をしてくださっています。

また、ご持参いただかない方もどなたでも、ブースに持ち寄られた本をお持ち帰りができます。意

外な本との出会い、同窓生や母校現役生との繋がりが、皆さんを待ちしています。

総会・懇親会の参加申込み方法

現地またはWEBでの参加をご希望の方は、氏名・卒業期・連絡先を、専用フォーム(QRコード)、メールまたはFAXでお申込みください。当日参加も受けられますが、料理数その他、幹事期準備がありますので、事前の申込みにご協力をお願いします。



いムンあごめホリがでさい。めホリ内のさい。み合一のまよく読場ペクリ利

【メール】

shizukokanto@gmail.com

【FAX】事務所

03(5217)0301

各期幹事の方など、同期の参加をおまとめとしてメールでご連絡いただくことも歓迎します。同期の皆様にお声掛けをよろしくお願います。

【WEB参加の方】

総会の3日前に、Zoomミーティングの招待メールを、お申込みいただいたメールアドレスに送信します。

議決方法と 質疑について

【審議】

現地会場に出席された会員にて議決をします(規約第9条・出席者の過半数による賛成により議決) WEB参加の方は、審議は視聴のみになりますことをご了承ください。

結果は、ホームページや12月発行の会報等でもご報告します。

【議案・会活動への質問】

ご意見・ご質問は、出欠席に関わらず広くお受けします。お手元の用紙に記載してFAXをいただくか、メールをお送りください。尚、議案や会活動についてのご意見・質疑に限ります。

ホームページからもご意見いただけます。

ホームページ「静中静高関東同窓会」→トップページ→右上のメニューバー「会費・お問い合わせ」→「投稿ページ」→投稿フォームに入力してください。総会に限らず年間を通じてご意見をお待ちしております。

議案主旨

一号議案 2022年度事業報告・決算報告・監査報告

【事業報告】

正副会長会・理事会は、WEB会議を中心に進めました。各期幹事会は開催中止とするも、異業種交流会は2回開催しました。

【決算概要】

56万円の赤字となりました。ご協力ありがとうございました。

【収入】

会費が667口と予算を上回り、予算以上の収入となりました。

【支出】

各期幹事会の中止、卒17年目の会・卒25年目の会が翌年度に延期となりました。

【監査】

2023年4月18日、会計監査を実施しました。

二号議案 2023年度事業計画・予算計画

【事業計画】

懇親会付の総会を現地で実施し、総会・講演会はWEB配信します。各イベントもコロナ禍前に戻れるよう計画しました。

【収入】

会費は、前年度の実績に加え、懇親会付の総会開催を前提に690件を想定しました。会報広告料は本会報掲載分を予定しました。

【支出】

懇親会付の総会、各期幹事会、卒18年目の会、卒26年目の会等の実施を前提に計画しました。

尚、これまで「役員理事会費」に含めていた異業種交流会と、「予備費(活動費)」に計上していた活動費を、新たに「活動費」に計上しております。

4年振りの

懇親会付き総会に向けて

関東同窓会会長

杉山順一(84期)

日頃、静中静高関東同窓会会員の皆様には会の発展やその充実を目指し何くれのご尽力をいただき心から感謝申し上げます。

今般、総会幹事期の皆様や役員・理事各位のご賛同、ご支援の下、4年振りの、懇親会付き総会実施の運びとなりました。

同窓会もここ数年コロナ禍の影響で同じ釜の飯を食った仲間による分け隔てない楽しい会話の場の提供が難しくなり、一方で数年前までは使った事もない「リアル打ち合わせ」「ネットミーティング」「ハイブリッド会議」等の言葉が、集まりの際の選択肢の主流になって、私達も同窓会困惑の時代を過ごしてきました。

しかしここにきてようやくコロナ禍の霧も薄れ、それこそリアル総会・懇親会が可能になりました。私たちはこれを単に「元に戻った」とせず、幹事期の頑張りを下支えに、新しい同窓会の姿を目指し進んで行きたいと思っております。とは言え遠隔地の皆様やお仕事等の都合から総会出席の難しい方々のツールとしてWEB視聴も併用致しますので、どうぞ皆さま夫々のご都合に合わせて、より多くの会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。そして久し振りに声高らかに『岳南健児』を唄いましょう！

一号議案

2022年度事業報告 自2022/4/1~至2023/3/31

1. 第47回 静中静高関東同窓会総会開催（幹事99期）
 - (1) 日 時：2022年7月2日(土) 15時~16時40分
 - (2) 場所・形式：日本プレスセンター10Fホールでの現地とWEBによるハイブリッド開催
 - (3) 参加者：(現地)69名、(WEB参加)32名(パネリスト7名含む)合計101名の会員参加
 - (4) 来賓(WEB)：(本校)小関雅司学校長(本部)松村友吉同窓会長
(支部)柴田尚関西支部長(事務局)岩崎明教諭
 - (5) 会長挨拶：杉山順一会長
 - (6) 来賓挨拶：小関雅司学校長、松村友吉同窓会長
 - (7) 議 事：全議事が可決承認
一号議事 2021年度事業報告・決算報告・監査報告
二号議事 2022年度事業計画・予算案、三号議事 役員改選
 - (8) 母校野球部紹介：河村卓利静高野球部後援会会長
 - (9) 講演会：WEB同時配信
講演者：青島矢一氏(99期) テーマ「イノベーションを生む産業システムの再構築」
 - (10) 懇親会：コロナ感染拡大防止のため休会
2. 会報編集委員会：2回(5・12月)会報発行
3. 2022年度会計監査：2023年4月18日
4. 正副会長会(役員会)：7回
5. 理事 会：5回
6. 各期幹事会：コロナウイルスの影響で休会
7. 異業種交流会：2回開催 2022年5月20日、2023年1月27日
8. 古書コミ活動：コロナウイルスの影響で休会
9. 卒業17年目の会：コロナウイルスの影響で休会 2023年開催に変更(121期対象)
10. 卒業25年目の会：2023年秋開催に向けた打合せ(113期対象)
11. WEB広報委員会：HPリニューアル
12. 年会費納入システム追加：12月より、現行ゆうちょ払込票に加え、オンライン決済方式を導入
13. 在校生へ関東同窓会紹介：本部協力により卒業式にて直近会報と案内を配布(139期対象)

決算報告

監査報告

(収入の部)

科目	2021年度実績	2022年度予算	2022年度実績	予算差異	備考
年会費	2,076,000	1,950,000	2,001,000	51,000	667件
総会・懇親会費	0	0	0	0	
会報広告料	420,000	420,000	410,000	▲10,000	
本部助成金	250,000	250,000	250,000	0	例年通り
受取利息その他	55,012	0	1,709	1,709	寄付なし
計	2,801,012	2,620,000	2,662,709	42,709	

(支出の部)

科目	2021年度実績	2022年度予算	2022年度実績	予算差異	備考
総会費	208,736	182,000	146,937	▲35,063	前回と同規模
会報発行費	1,405,039	1,440,000	1,309,004	▲130,996	
(内印刷費)	(828,047)	(840,000)	(750,100)	▲89,900	
(内発送費)	(576,992)	(600,000)	(558,904)	▲41,096	
役員理事会費等	80,347	327,000	146,166	▲180,834	理事会4回・異業種交流会2回
旅費・交通費	12,940	13,000	0	▲13,000	
銀行郵便局振込料	119,990	110,000	114,503	4,503	新支払い方式の採用
通信費	58,376	88,000	78,850	▲9,150	みずほWEB、Zoomウェビナー料金改訂
事務費	240,000	240,000	240,000	0	
消耗品費・雑費	30,250	50,000	59,870	9,870	ハイブリッド用スイッチャー費用
予備費(活動費)	6,000	80,000	1,500	▲78,500	卒17年目の会・卒25年目の会 未開催
計	2,161,678	2,530,000	2,096,830	▲433,170	

2022年度収支 565,879 円の黒字
繰越金 5,226,930 円

財産目録	
2023年3月31日現在	
1. 現金	89,178円
2. 預貯金	ゆうちょ銀行 3,954,506円 みずほ銀行 1,183,246円 預貯金計 5,137,752円
現金預貯金合計 5,226,930円	
以上	
監査報告書	
静中静高関東同窓会 会長 杉山順一殿	
2022年4月1日から2023年3月31日までの収支決算書及び財産目録、並びに関係書類、帳簿等を監査致しました結果、正確適正に処理されていることを認め報告致します。	
2023年4月18日	
静中静高関東同窓会	監事 松島勲 (84期)
同	監事 竹田徹 (85期)

二号議案

2023年度事業計画 自2023/4/1～至2024/3/31

1. 第48回 静中静高関東同窓会総会開催（幹事100期）
 - (1) 日時：2023年7月1日(土) 13時～
 - (2) 場所：日本プレスセンター10Fホール（総会講演会はWEB配信）
 - (3) 議案：一号議案 2022年度事業報告・決算報告・監査報告
二号議案 2023年度事業計画・予算計画
 - (4) 講演会：講演者 久保田明史氏（100期）
テーマ「自ら道を切り拓く。起業家人生と起業のススメ」
 - (5) 懇親会：日本プレスセンター10Fホール 総会終了後～16時30分
2. 会報編集委員会：年2回（5・12月）会報発行
3. 2023年度会計監査：2024年4月
4. 正副会長会（役員会）：5回
5. 理事會：5回
6. 各期幹事會：2024年2月24日（土）13：30～
7. 異業種交流会：2023年10月・2024年1月開催予定（年2回）
8. 古書コミ活動：総会・各期幹事会で活動予定
9. 卒業18年目の会：2023年秋開催
10. 卒業26年目の会：2023年秋開催
11. WEB広報委員会：HPリニューアル（適宜）、ツイッター等SNS拡充
12. 若手会員獲得活動：在校生・大学生へのアプローチ等、工夫し継続

予算計画

(収入の部)

科目	2022年度実績	2023年度予算	前年比	備考
年会費	2,001,000	2,070,000	103%	690件想定
総会・懇親会費	0	680,000		150名規模を想定
会報広告料	410,000	400,000	98%	広告枠 20
本部助成金	250,000	250,000	100%	
受取利息その他	1,709	0		
計	2,662,709	3,400,000	128%	

(支出の部)

科目	2022年度実績	2023年度予算	前年比	備考
総会費	146,937	1,183,000	805%	
(内総会会場費等)	(146,937)	(358,000)	244%	会場リハーサル 総会懇親会WEB配信付
(内総会懇親会費)	0	(825,000)		150名規模
会報発行費	1,309,004	1,330,000	102%	前年実績
(内印刷費)	(750,100)	(770,000)	103%	印刷代値上げ
(内発送費)	(558,904)	(560,000)	100%	前年並み
役員理事会費等	86,931	108,000	124%	理事会5回
活動費（各イベント）	59,235	296,000	500%	異業種2回・各期幹事会・卒18年の会・卒26年の会
旅費・交通費	0	13,000		
銀行郵便局振込料	114,503	120,000	105%	
通信費	78,850	89,000	113%	みずほWEB、HP維持費、Zoom、ウイルス対策
事務費	240,000	240,000	100%	
消耗品費・雑費	59,870	12,000	20%	スイッチャー用のモニター費用
予備費	1,500	9,000	600%	
計	2,096,830	3,400,000	162%	

2023年度収支 0円
繰越金 5,226,930円

異業種交流会報告

次回、第32回は10月

1月27日(金)日本プレスセンター会議室にて第31回異業種交流会が開催されました。参加者は22名でした。今回は、119期・岩田匡平氏(株式会社 BaySell Technologies 代表取締役社長兼 CEO/株式会社 AVIC 共同創業者)に30分程、大変興味深いスピーチをしていただきました。



バイセル岩田社長がスピーチ リユース市場を開拓

私は静岡を卒業後、東大工学部に行っております。システム創成学科で、社会システムを創成していくという思想に立って民間に人を輩出するという科を卒業しました。新卒で株式会社博報堂という広告代理店に入社し6年程勤めた後、2014年4月1日、初めて個人で脱サラ起業をしOWL(Aウル)株式会社を立ち上げました。その会社でバイセルテクノロジーズという会社の経営コン

サルを担い、2017年10月、M&Aを行うと同時にCEOに就任しました。OWL株式会社(現AVIC)には、バイセルに参入後も創業株主としてずっと経営を続けて参りまして、2023年6月30日に株式会社 AVIC も東証グロース市場にIPO(新規公開株上場)をしています。

反骨精神が培われた少年時代

私は焼津市出身で、父親は焼津港を中心とした遠洋漁業の漁師で舟元でした。この港町で海を背景に育ちましたが、漁業の衰退と共に街全体の景気も下がっていき、私が十代の頃はかなり治安も悪くなっていました。大人たちを信頼できずに社会に対する不信感というものが心の中に渦巻いており、なかなか将来に希望を持てず、勉強せずに遊んでばかりいました。地域の大人たちからも見下されているように感じて、いつか見返してやろうという反骨精神、ハングリーさが培われたと今となっては思います。

東証の鐘を二度打鐘の幸運

こちらが、私が35歳の時に東証にて、バイセルテクノロジーズ上場時に打鐘させていただいた時の写真です。2019年12月です。まだコロナ前ということで、東証の荘嚴たる鐘の前で打鐘させていただいたのですが、その後すぐにコロナがやって来て新規上場事業のこの「鐘を叩く」という一大イベントは中止されました。AVICが上場した時は、

ラッキーなことに打鐘が復活していた、コロナ前・後で、人生しかも30代のうちに二度、打鐘をさせていただいています。



合致した三つのポリシー

私は30歳で起業しましたが、当初より事業を選択する上での個人的なポリシーが三つあります。事業を選択した瞬間で経営者の仕事は8割を終えていると考えています。なるべくイージーゲームをして勝っていくというのが経営者としては重要で、この三つに合致する市場、ビジネスはないか、コンサルをしながら探していました。そしてバイセルテクノロジーズを買収し、リユース品の買取・売却事業に進出しました。

一、市場が馬鹿でかいこと

中古不動産の売買を除く古物市場、我々が扱うところでは切手・着物・骨とう品・ブランドバッグ・貴金属ジュエリーという商材を全部合わせると3兆円の二次流通マーケットが存在します。これは非常に大きい市場であり、一つ目の条件をクリアしました。

二、競合環境がゆるいこと

二つ目は、競合環境がゆるい、つまり弱いことです。2017年時点で、リユースビジネス上場企業を全てしらみつぶしに調べました。当時、時価総額で一千億円、営業利益では百億円の利益をたたき出していた企業はありましたが、なんてこの業界はガリバーがないのかと思いました。

三、時代が後押しすること

現在、日本の人口は右肩下がりで減少しています。これはGDPが下がっていくということで、全ての産業が斜陽に傾いて行く。そんな中、右肩上がりの産業はないのかと調べていたところ、このリユースビジネスはかなり堅調に推移し成長している市場であると判りました。皆さんご存知のメルカリは個人間で不要な物を売買しあうビジネスを2013年に立ち上げ、リユースビジネス市場をかなり拡大していったという背景もありました。

もう一つは、高度経済成長期、バブル時代は、新入社員だったらずは新車だろうという価値観。とにかく日本人というのは新品好き。今の時代はそうではないです。ね。中古でも、すごく良い物で使えるのであればスマートでかっこいいという新しい価値観が日本にも備わって来ているし、地球資源を食い尽くしてしまうのではなくて、SDGsのようになるべくサステナビリティを持つて後世に残していこうという動きがグローバル規模で起こっている。リユースビジネスというの

は、作っては棄てるという世界ではなくて、良いものはまだまだ使えるのだから、誰か必要の人にそれをきちんと届けましょう、というビジネス。これは時代が後押しするだろうと考えました。

この三つのポリシーは、当時本気で考えていました。是非この企業を自分で経営してみたい、自分も大きく経営者として成長していきたいということ。2017年にこのビジネスを開始しています。



岩田氏のファーストスピーチに続き、皆さんに自己紹介を織り交ぜながらお話をさせていただきました。その後の飲食会には22名中16名が参加しました。



終了後の懇親会

《次回予告》

第32回異業種交流会は10月開催予定です。詳細はホームページでお知らせします。

同窓生の著書紹介

新著紹介

『絵本で読みとくSDGs』

中川素子+浅野由子編
水声社

77期 中川素子

私たちの子ども時代と違い、今の地球は危機的状況になっている。ロシアによるウクライナへの侵攻、溢れかえるプラスチックゴミ。私たちは、未来を生きる子どもたちに安全な地球を残すことができるだろうか。共編著『絵本で読みとくSDGs』（水声社）の帯に書いた「私たちは、地球を救うチャンスを与えられた最後の世代になるかもしれない」という重い言葉に、危機感の差し迫り方が世界的には遅い日本の私たちでさえ、できることは何かと考えざるを得ない。

2015年の国連総会で、「持続可能な開発目標」が採択された。略してSDGs(エスディーゼイズ)といい、質の高い教育、ジェンダー平等、気候変動対策、海や森の保全、平和、パートナーシップなど17の目標が立てられた。

15名の執筆者は、絵本、文学、児童学、美術など多様な専門分野から集まった方々である。『絵本で読みとくSDGs』は、17の目標ごとに絵本でSDGsの精神を解き明かしている。絵本をとおしてSDGsを読み



とくことは、子どもたちに広めやすい。世界の人々と力を合わせやすい。文字を読むだけではない活動もできる。例えば、目標6の「安全な水とトイレを世界中に」では、頭に水をのせて運んでみたり、子どもたちが水を感じるワークシヨップをしている。この本の中に、これからの地球を楽しむヒントを見つけていただければと思う。

配信開始

『香港街角ノート 日常から見つめた返還後25年の記録』
幻冬舎ルネッサンス
野上和月 著

98期 小野尚美

昨年末、香港の中国返還25年を振り返りながら未来を探る本を出版した。消されていく情報もある中で、私が見てきた返還直前からの大きな時代のうねりを記録に残したいと思ったからだ。といっても自費出版。出版社にあたり、紙書籍は約350万円もする。電子書籍ならその約半額だし、市場は年々拡大している。何よりインターネットなら海外からもアクセスできると思い、電子書籍を出すことにした。

なんとか書き上げて喜んだのも束の間、次々と問題が発覚した。まず、自費出版でも付くとの触れ込みだったISBN(国際標準図書番号)は、電子書籍に関しては大手出版社内では採番されていない。さらに、香港や英国から買おうとしても「地域制限がある」と表示されて購入できないケースが続出した。例えば、日本で買ったKindleなら香港でもダウンロードできても、香港版Kindleではできない。香港人が普段日本の商品を買っているショッピン

このことを出版社に伝えると「弊社からできる対応がございません」と他人事。端末設定は個人によって異なるというのが理由で、原因や対策など明確な回答や適切なアドバイスはなかった。むしろ初めて知ったようだった。愕然としている時に目にしたのが、昨年12月発行の第94号。松井琢磨先輩が「明日からできる出版革命のススメ」で、日本の出版業界の問題点を米国と比較して指摘されているコラムを拝読し、合点がいった。日本の出版業界は、古い体質に胡坐をかいていて技術革新への対応が遅いのだ。国立国会図書館でさえ、ようやく電子書籍の納本の受け入れを積極化するという。

海外で現地の人が普通に日本の電子書籍を購入できないのは、日本の閉鎖性と特殊事情だと指摘する声もある。紙書籍主流の時代は国内の書店販売網に依存できても電子書籍は違う。ネット社会では海外読者もいる。外国語(日本語)に長け日本の本を読みたい潜在的な読者に国境を越えてアプローチできるチャンスのはず。「対応できません」で終わらず、業界全体で未来志向の改革が必要だろう。



著書紹介

日本経済新聞社
政治・外交グループ編

117期 宮坂正太郎

データで世界と比べた日本の政治の現在地はどうだろうか。政策や制度が固まる過程でどの政治家が力を持つのか。

新聞社の政治・外交分野のデスクとして昨年『Reading Japanese Politics in Data データで読む日本政治』『永田町政策マップ』の2冊を手掛けた。いずれも教育や民間企業・団体の担当者の視点や意識し、新しい政治コンテンツのあり方を追求したものだ。『データで読む日本政治』はタイトルが示すようにデータから日本の政治や外交の姿を客観的に描くことを試みた。首相になった人物の経歴の特徴は何か、解散総選挙はいつが多いかといった分析から、公務員の採用環境や安全保障環境の変化まで80あまりの項目をまとめた。

私は政党や国政選挙、外務省の担当を務めてきた。その時々々の選挙情勢や国会の動き、外交交渉のドラマに加え、データの蓄積から浮かぶ事実が面白さを感じ、分析記事を書くことが増えた。この本はその到達点のひとつだ。

もう1冊の『永田町政策マップ』は半導体、蓄電池、茶業、スポーツ、幼児教育・保育といったテーマ別に議員連盟などのキーパーソンをまとめた。自民党を中心に実務に携わる議員へのインタビ

目次
1 貧困をなくそう
2 飢餓をゼロに
3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう
6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8 働きがいも経済成長も
9 産業と技術革新の基盤をつくろう
10 人や国の不平等をなくそう
11 住み続けられるまちづくりを
12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を
14 海の豊かさを守ろう
15 陸の豊かさを守ろう
16 平和と公正をすべての人に
17 パートナリシップで目標を達成しよう

ユーも盛り込んだ。
企業の方から「この分野に強い議員は誰ですか」と聞かれることがある。政治への関心、接点として重要であるものの従来はあまり電子版や紙面でまとめてこなかった情報だ。

2冊を出した昨年は政治記者として忘れられない出来事が相次いだ。2月にロシアがウクライナに侵攻し、エネルギー問題をはじめとする国際情勢や日本の安全保障政策に波及した。国内では7月の参院選の期間中に安倍晋三元首相への銃撃事件が起きた。

オンラインで大量の情報が流れ、それは政治ニュースも例外ではない。あふれる言説のなかで政治の現場を間近に見る者として何をどう残すべきか。

この4月には『あなたと日本の防衛を考えたい』と題し、安保に焦点をあてた本を出した。政治家らのストーリーを描く手法に加え、体系的に政治の姿を整理することも歴史の記録になると思う。



『殻割る音』はどこから聴こえてくる？

118期 上村里奈

『花の色は うつりにけりな いたづらに わが身世にふる ながめせしまに』
古今集から百人一首に収録されたこの句を知る方は多いだろう。三十六歌仙であり、絶世の美女と謳われた小野小町が時の移ろいを嘆いて詠んだものだ。私が学生時代に覚えた和歌でもある。

小町を引き合いに出すのは恐れ多いが、私自身も時流に乗り損ねたフシがある。娘がこの春から高校に進学し、自分が静高に通った日々から四半世紀も経つと気がかされ慄いた。

卒業後の日々につける名前はない。築いた家庭と子の成長のほかに残る形はなく、安穩よりも茫洋とした歳月だった。それでも私の中に根を張った物語があったのだと、作家となった今にして思う。

私のデビュー作は、2020年12月に小学館おいしい小説文庫から中村汐里名義で出版された。『殻割る音』と題したこの作品は、中学受験を控えた12歳の少女『さくら』が料理に目覚め、母との絆を握りしめて成長するストーリーだ。

どこにでもありそうな家庭の中にわずかな違和感がある。だがその違和感まで含めて当たり前

と感じるほど、さくらの世界は幼く狭い。その中で純粹な想いを研ぎ澄ませ、己を取り巻く世界を変えたいと願いながら彼女は努力する。

執筆の中で、私はさくらに自分の想いを丸ごと押し付けた自覚がある。新たな道に挑む、心持ちを改める……人が変わるのとは簡単ではない。作中で少女に担わせ

ておきながら、私はついでに変わったらいいか、などと思っていた。ところが、応募した「日本おもしろ小説大賞」でどうした因果か最終選考に残り、大賞こそ逃したものの書籍化の話をいただいた。発売日まで疑心暗鬼は続き、書店に並ぶ本を見てとうとう現実を呑んだ。タイトルの『殻割る』に込めた想いは、巡り巡って私自身の人生も変えてしまったのだ。

母娘の成長譚であり料理小説でもある本作、ぜひ多くの方にお見知りおきいただきたい。現在は新刊の執筆中でもある。作家・中村汐里として今後も活躍すべく、さらに多くの殻を割れるよう精進する所存だ。

なお、冒頭に記した句は掛詞の美しさでも有名だ。『殻割る音』においてもそのエッセンスを取り入れたので、興味のある方はぜひご照覧あれ。



エッセイ集

永訣は日々の中にあり

90期 見城宗忠

コロナ禍での過剰な自粛は、私たちの日常に大きな影を落とし続けている。日本のコロナ死者は全死者の1%ほどであり、しかもその殆どは基礎疾患のある高齢者だ。そもそもコロナ死者の定義は曖昧で、仮に交通事故で亡くなってもPCR陽性反応ならコロナ死亡者として扱われることもあるというから、この数字をそのまま受け止めることはできない。それなのに成長期の子供にはむしろ害が多いマスクを押しつけたり、人と会うことを恐れて家に閉じこもって、精神的にも身体的にも落ち込んでいる人も少なくない。マスクが取り上げるレアケースに不安を煽られて「あれもダメ、これもガマン」したその先に、「一体何があるというのだらう。」

思えば私たち一人ひとり、それぞれ先祖伝来の数え切れない（いのち）の最先端を生きている。この（いのち）は過去の様々な困難を乗り越えてきた（いのち）である。百年前、全世界で推計五千万人が、日本でも45万人が亡くなったといわれるスペイン風邪にも負けずに生き抜いてきた（いのち）である。この（いのち）の持つ賢さに気づかず、テレビで垂れ流される専門家やコメンテーターの意見を鵜呑みにして、いつの間にか頭の健康を損ねてしまっているのではないか。

「死こそ常態、生は愛しき蜚氣楼」と、清冽な生き方を貫き通した詩人茨木のり子は、葬儀万端が嫌いだっただけで、その理由について「日々の出会いを雑に扱いながら、永訣の儀式には最高の哀しみで立ち会おうとする人間とは、一体何だろうか？」と述べ、ひと言「永訣は日々の中にある」と鮮やかに言い切っている。生き限りの限りがなくなる喪失にも遭遇することがあると腹を括ること、それが却って「いま、ここ」を丁寧に生きていくことに繋がっていくのである。家に籠もって誰にもわからぬ先のことをあれこれ心配するより、心配りしながら会いたい人には会い、行きたいところには行つたらいいではないか。限りある人生である。「人皆生を樂しまざるは、死を恐れざる故なり」（徒然草）で、時流に流されずに自分らしく生きたいと思う。

（普門庵住職）

エッセイ
《時代考証アラカルト》
81期 若桜木 虔

男女同姓は明治時代から

朝井まかて作『恋歌』を直木賞受賞作ということ期待して読んでみたが、時代考証が出鱈目で、どっちらけ。直木賞の選考時に、なぜ時代考証の専門家を入れないのか、苦言を呈したい。

主人公の中島登世が林家に嫁入りして林登世となり、事情があつて「旧姓」の中島登世に戻るのだが、そんな馬鹿なことがあるわけがない。結婚して同じ苗字になるのは明治三十一年に成立した民法で「夫婦は同姓とすべし」とされてから。明治九年の太政官布告では「妻は実家の姓を使用すべし」だから、江戸時代は養子に入らない限り、苗字が変わることはない。

見延典子の大作『頼山陽』でも、母親の梅颯が「頼梅颯」と名乗っているが、これも間違いで「飯岡梅颯」でなければならぬ。歌人なので、「ペンネーム」として「頼梅颯」と名乗つたのであれば許されるが、そんな記述は、どこにも見当たらない。

そもそも、こういう間違いは細川ガラシャのせいだろう。歴史上、「細川ガラシャ」なる人物は存在しない。「明智ガラシャ」である。北条政子は「源政子」ではないし、日野富子は「足利富子」では

ない。織田信長の正室は斎藤婦蝶（もしくは胡蝶）であつて織田婦蝶ではない。

豊臣秀吉の正室の寧々は豊臣寧々や羽柴寧々ではなく、最初が杉原寧々で、浅野家の養女となつて浅野寧々となり、秀吉に嫁いだ。秀吉の盟友の前田利家の正室の松は、篠原松であつて、前田松ではない。こんな、ちよつと調べれば、すぐに分かることを、なぜ怠るのか、甚だ疑問である。

三つ指突いて、丈六の
仏像に緊張して呆然と

これが四つとも、時代小説には類出する、時代考証間違いの言葉である。

三つ指を突くのは、そもそも吉原の遊女が始めた作法で、極めて不作法な挨拶とされる。両手を「ハ」の字状にして掌をしつかり床に着け、額を床すれすれまで下げるのが、最も礼儀正しい作法。しかし、これが最も礼儀正しい挨拶だと勘違いしている時代小説作家が実に多い。全くもって嘆かわしい。

なお「勘違い」は明治二十二年に『風流仏』の中で発表した幸田露伴の造語である。江戸時代なら「思い違い」だが、これも享保七年（一七二二）の近松門左衛門の造語だから、それ以前なら、「誤認（北宋の司馬光の言葉）」「錯誤（唐の皮日休の言葉）」「妄想（菅原道真の言葉）」といった言葉を使わなければならない。「丈六の仏像」は、高さが一丈六

尺（座像の場合は、その半分の八尺）の仏像のことで、これを「二間四尺の仏像」とは絶対に言わない。

そもそも「間」は「柱と柱の間」の距離に由来する言葉で、水平方向のみの単位。縦方向は「丈」を使用するのが鉄則で、「丈」未満は「尺」を用いる。

ところが、「高さ*間」などと平気で書いている時代小説作家が大勢いるから、実に嘆かわしい。

「呆然」は明治十七年の坪内逍遙の造語であつて、それ以前なら「茫然（杜甫の言葉）」「放心（孟子の言葉）」「愕然（『史記』の言葉）」「惘然（梁の詩人の江淹の言葉）」などを使わなければならない。

杜甫の五言律詩は、次のようである。

到此應常宿 相留可判年

蹉陀暮容色 悵望好林泉

何日沾微祿 歸山買薄田

斯游恐不遂 把酒意茫然

「緊張」は森鷗外が明治四十四年に発表した『百物語』に出てくる造語で、これ以外にも森鷗外の造語は時代小説には頻出する。

列挙していくと、情報・視野・任務・奇襲・敏感・重視・迷信・衝動的・反射的・爆発的・色調・集中力・分野・短時間・断面・均衡などなど。

森鷗外、夏目漱石、坪内逍遙が、新造語の「三巨人」と言つて良い。それに次ぐのが尾崎紅葉、徳富蘆花、永井荷風、有島武郎あたり。明治時代以前を舞台に時代小

説を書くことと思つたら、要注意である。

時代小説の植物は要注意

ある時代小説を読んでいたら、戦国時代の物語なのに無花果が出てきた。無花果が日本に伝来したのは天正十八年（一五九〇）で、天正遣欧使節の少年たちが持ち帰った枝が長崎で挿し木され、そこから全国に広がつた。

だから、それ以前の時代が舞台なら、無花果を出してはダメである。

そういう点で最も間違いが多いのは、白菜。白菜は日清戦争で初めて日本に入つてきた。それ以前にも何度か白菜の持ち帰りは僧侶などによつて試みられたが、定着しなかった。

木犀は、銀木犀が遣唐使によつて古くから日本に齎されていたが、金木犀は江戸時代になって初めて渡来し、享保四年（一七一九）に染井村の植木屋・伊藤伊兵衛が著した『広益地錦抄』に初めて出てくるので、それ以前の木犀に金銀の別を付けるのはNGである。

なお、染井村といえば何と言つても染井吉野だが、日本全国に広まったのは明治時代になってからなので、江戸時代以前の時代小説に染井吉野を出すのは、染井村近郊以外はNG。

また、ある時代小説では、蒹葭草の灰汁抜き場面が描かれていた。しかし、灰汁の強い蒹葭草が明治時代に入ってきてからで、

江戸時代の蒹葭草は灰汁抜きの必要がなかった。

江戸時代に灰汁抜きが必要なのは、筍である。

筍の煮物を食べる習慣が広まったのは孟宗竹が入つてきてからで、孟宗竹は元文三年（一七三三）に薩摩の島津家が琉球から輸入、そこから徐々に日本全土に広まった。

だから、これ以前が舞台の時代小説に、筍の煮付けを食べる場面を出しては、いけない。

最近では菜の花を食べるが、菜の花を食材にしたのは太平洋戦争以降（一部の地域のみ、明治以降）で江戸時代までは菜種油の採取のみだったから、時代小説で菜の花を食べる場面を出してはいけない。

甘柿ができたのは文政三年（一八二〇）に突然変異が発見された富有と天保十五年（一八四四）に突然変異が発見された次郎で、それ以前の柿は、食べてみるまで甘柿か渋柿か分からない、不完全甘柿だった（種子が多ければ甘柿になる）。

これは鎌倉時代の建保二年（一一二四）に、現代の川崎市麻生区で発見された禪寺丸が最初で、小田急線の柿生に、名称が残っている。だから、江戸時代中期以前に、いきなり「美味そうだ」などと柿に齧り付く場面を描いてはいけないことになる。

葡萄は、日本では鎌倉時代から栽培されているが、原産地が砂漠地帯なので、水分を嫌う。時代小説に葡萄を出したら、水

をやる場面を描いては、いけない。日本は降雨量が多いので、大半の葡萄品種は日本では栽培できない。日本にある葡萄は一千品種ぐらゐのものだろう。しかし、世界では二十六万品種もある。生食用が十萬品種、ワイン用も十萬品種、干し葡萄用が六萬品種である。なお、私の大学院の博士課程時代の研究が葡萄の品種分類だった。

水をやってはいけない植物には、他に朝鮮人参がある。朝鮮人参は、水をやってはいけない、肥料をやってはいけない、日光に当ててはいけない、という、およそ普通の植物とは正反対の性質を持つている。八代將軍の徳川吉宗が朝鮮人参を日本国内に導入するのに苦労したのも、頷ける。

筆者(清水)も関東同窓会イベントで荒谷さんはじめ多くの先輩との交流を通じて多くの思い出を共有しました。総会・懇親会、各期幹事会は勿論、博物館、美術館巡りや毎年のゴルフコンペも懐かしく思い出されます。荒谷さんからお借りした掲載写真はすべてカラー。会報紙面は白黒写真で残念ですが、どれも鮮明で、少年少女たちのまぶしい青春時代が甦ります。

各期ごとの女子生徒数を調べたところ、68期の8人の後、69期に42人と急増。その後は70期から81期まで10人〜20人が続きました。82期に41人に増えた後は漸増し、99期に100人を突破しました。115期以降はほぼ150人超となり、全校生徒の4割以上に達しています。



平成2(1990)年、箱根カントリーゴルフでの関東同窓会ゴルフ会で遭遇した長嶋茂雄氏(中央右)、金田正一氏(中央左)と。(長嶋氏の右隣が荒谷さん)

共学事始め

〜女子一期生、68期・荒谷じつ子さんに取材〜

77期 清水 雅尚

共学事始めについては『静中静高史』に詳述されており、一部が関東同窓会会報94号(22年12月号)10頁で紹介されています。

そこで女子生徒一期生の荒谷じつ子さん(68期)を訪ねお話を伺いました。とてもお元気で当時を振り返ってくださいました。(以降、荒谷さんのお話です。)

共学は人生を豊かにしてくれた 同窓会での交流に感謝!

私たち68期が静高(当時城内高校)に入学したのは昭和24(1949)年4月。女子生徒一期生と呼ばれるとは思っていませんでした。戦後の混乱期で高校受験もなかなかまとまものものではありませんでした。せっかく静高に合格したのに、地区割というのがありまして、1年目は城北高校に行きました。男子生徒も何人か城北高に入学しました。

ところが、1年後に、静高に入学した女子生徒が「城北高に変わりたい」、逆に城北高に入学した生徒の何人かは「静高に行きたい」と希望しました。

翌年には城北高の男子生徒はすべて静高に移動。他方、静高に入学した女子生徒の何人かは静高に残り、同時に城北高に入学した女子生徒の何人かも静高に移りました。

この結果、女子生徒一期生として8人と言うことができると思います。当初は毎日のように女子生徒のいる教室に男子生徒が覗きにきました。その頃は男尊女卑の時代、ひどい言われ方もされました。でも男子生徒の中で勉強できたことはとても実り多かったです。その後の人生でも、特に同窓会などの行事などを通じて人生を豊かにしてくださったことに感謝しております。

荒谷さんと一緒に箱根カントリークラブでのゴルフコンペ(1990年)は特に印象深く記憶に残っています。このコンペでは前の組でプレイしていた巨人軍のスター選手の長嶋茂雄さん、金田正一さんと歓談し、記念に写真を撮りました。掲載写真では、明るく闊達な荒谷さんが長嶋さんらとすぐにうちとけ楽しいひと時でした。

ますますお元気で！同窓会イベントでお会いするのを楽しみにしています。



上) 昭和24(1949)年4月11日入学(当時は城内高校)の68期から男女共学に。
中) 駒形通りのミカサ写真館にて(下段左が荒谷さん)
下) 女子体育授業は、一学年下の69期と合同で。



連載エッセイ
たかが同窓会、されど同窓会
第25回 「遺すもの」

71期 浦田彰

同期の鈴木暉男君が『風』と題する文集を上梓した。私家版だが磐田市に住して60年、整形外科医として地域医療に携わった

日々の思い出を綴った自分史である。米留学のこと、恩師や医師仲間のこと、医者のかせに悩んだ腰痛や関節炎、趣味のヨット遊び…人生の残り時間を想い、思い切って本にしたという。

皆さんの中には鈴木君のように、これまでの人生を顧みて、様々な体験や思い出を後に遺したいと思ひ、出版化を果たしたり、企画したりしている方も多いのではないかと。もとより書店に並ぶなんてことは念頭になく、私家版で。

そこで、以前この欄でも触れたが、母校内の同窓会事務局にはそうした同窓生から寄贈された私家版の出版物が何百冊となく積みまれている。手に触れた幾つかを紹介してみたい。

88期の金森文孝さんから寄贈された文集『采し方』（76頁）。後書きにこうある。「終活の一環として、私の葬儀の際、故人を少しでもだけ偲んで戴ければと、65年間の作品をまとめてみました…。俳句あり短歌あり詩あり小説あり。その文集から一句、（人生の千秋楽や寒椿）。荻野寛さん（71期）と美和子さん親子が編んだ句

集『紅白梅』から一句、（安倍川の空を領して駿河風）。深沢光さんが寄贈した詩集『銀の魚』から（詩は空を見失って闇の中で一つだけ小さな欠伸をした…）。福地省吾さん（29期）『金婚記念歌集』から、（老いの旅夫婦手をとって機を降りて 初めて踏むか外国の土）。

詩、歌、句、エッセイだけではない。青木輝さん（71期）の過酷な戦争体験記『満州の戦争を語り継ぐ』や奥田万里さん（82期）の実兄の追悼記『山本肇を語る』など後輩に伝えたい貴重な体験や、同窓生の知られざる生き方を綴った作品も目に付く。

また、私家版ではないが、富野壽さん（71期）の『ソフトウェア開発の定量化手法』や安本隆晴さん（88期）の『ユニクロ！監査役実録』、矢部正和さん（71期）の『野球物理学・投球動作における球速』、島田久美子さん（100期）の『科学情報過程論』など実務家として活躍した卒業生がその職に徹した証しといえる作品も多々ある。

以上、わたしが紹介した作品はほんの一部だが、一冊々々伝わってくるのは、青春の3年を静高で送った同窓生たちが母校に遺した熱い想いだ。皆さんもぜひ、お手元の一冊を同窓会に寄贈してほしい。冒頭で紹介した鈴木君にも一冊を寄贈するように伝えるつもりだ。同窓会事務局では池田幸江さん（95期）が丁寧に対応してくる。

鎌倉・建長寺の13人
神楽に感動、
準備をお手伝い

92期 日下淳

2023年11月19・20日、鎌倉の建長寺で「岩手郷土芸能祭」鎌倉が開催された。紅葉で街が赤く染まり始めた時期。『鎌倉殿の13人』の人氣もあつてか、観光客も多い週末だった。

今回の出演は、ユネスコの無形文化遺産にも指定されている早池峰大償神楽。芸能祭は新型コロナウイルスの影響で中止され、三年ぶりの公演だった。

関東での郷土芸能披露は、2013年から行っている。神楽などの郷土芸能は、東日本大震災の被災地の人々の心の支えになり、地域の絆を強めてきた。そうした郷土芸能を首都圏の人に知ってもらい、被災地への理解・支援を深める狙いで始まった。

企画・運営に当初から関わった組織の一つが、震災復興の活動を展開する Save Iwate（代表・92期の寺井良夫氏）。関係者と協力しながら、毎年の出演者の確定や会場の設定、チケット販売などの準備を進めてきた。

◆畳上に特設舞台、迫力満点の舞
そんな催しに静高関東同窓会のメンバーが参加した。建長寺に集まったのは、同伴の配偶者を加えると13人。これまで現地で神楽鑑賞をした人はいるが、今回は設営の手伝いや懇親も加えた新たな企画だった。

神楽の舞台の設置場所は、建長寺の方丈である龍王殿。本尊の前に百畳を超える畳が広がり、ここに特設舞台を組み立てる。メンバーは資材運搬トラックから龍王殿に、桧の板や角材を運び込む。舞台ができるまで椅子や座布団を運び観客席づくり。建物外では岩手の物産販売に声を上げた。



畳上に特設舞台を設置。資材運搬を手伝った。



神楽「鞍馬」の舞。囃子も舞台上で演奏する。

初日の公演に集まった観客は約200人。地元の方々が多く、「再開を楽しみにしていた」との声も聞こえた。舞は迫力満点。鳥舞、岩戸開などの演目が次々演じられ、息を飲んで見守った。太鼓を中心とする囃子との調和も面白く、寺の建物の中に神楽の舞台という特別な空間の設定も印象的。参加者は皆、大いに堪能した。



芸能祭には様々な方が協力。懇親会で話をうかがった。

◆地元の方々と交流
初日終了後、寺内の食堂で懇親会を行った。静高OB・OGだけでなく、地元NGOの方々とも席を共にし、話をうかがう機会を得た。被災地とのつながり、建長寺を借りられるようになった経緯（総長の即決）…。支援という言葉の連想から、ウクライナでの戦争にも話が及んだ。人々の絆が色々な分野で繋がっていると感じた。

2014年、静高関東同窓会の総会で寺井氏に講演をお願いした。それを機に、同窓会有志は毎年岩手へのツアーを組むなど、「岩手」や「復興」、「期を超えた交流」等をキーワードに色々な活動（遊び）を展開している。ここ三年はコロナの影響で行動が制約されたが、建長寺の神楽は、久しぶりに対面の集いを楽しむ機会になった。

今年の建長寺での郷土芸能祭は、10月7・8日に花巻市の石鳩岡神楽出演で開催する。コロナで休止していた岩手ツアーも近く再開の予定だ。神楽もツアーも、是非ご参加ください。

栄光を受け継ぎ 新しい夏を拓く

岳南球友会 94期 松永啓

百年前の大正12年夏、静中は第一回神静大会において横浜公園球場で連戦、決勝で横浜商に3対8で敗れる。その9月に関東大震災。この時期に甲子園球場が計画され奇跡の突貫無休工事で翌夏に竣工する。その夏静中は、震災で活動を縮小せざるを得なかった神奈川県勢に静岡古庄球場で完勝して全国へ初出場。東洋一の巨大球場の開幕試合で40期田中一太郎選手が甲子園第1号満塁ランニングホームランを放つて北海中と熱戦を演じ、以後四元号の聖地で闘い続ける。

今春、関東同窓77期石山建一主将レジェンドが静岡をコーチする姿は、学生野球の父飛田穂洲が早大の教え子である石山さん（現在は全国有数の少年野球チーム高崎中央ボーイズの陣頭指導など諸国行脚で野球界に貢献）に乗り移ったかのように野球魂が時代を繋いだ。技術とマインドに躍動感がみなぎったチームは3月に他県強豪と連戦、神奈川遠征では、東京実業、藤嶺藤沢、桐光学園と切磋琢磨した。140期快腕力投派の元谷聡志投手（学習院中・アパホテル会長社長夫妻の孫で現CEOの長男）はキレが増した球で齋藤童獅投手（磐田城山中・慶大来音選手の弟）の剛球と競い、2年中野桜佑投手（東海大

翔洋中）は二刀流（強打の内野手）の威力を高める。春の打線は一番藤田駿斗二塁手（浜北北中部・父は平成元年夏の準々で静岡高から勝利打点の浜北西四番）二番亀井海夏人左翼手（静岡東中・父は拓大紅陵で選抜出場・明大エース・静岡ガス名投手）三番和田琉汰三塁手（富士田子浦中）、四番遠藤碧真主将捕手（富士宮第一中）井上諒大右翼手（静岡竜爪中・父は109期野球部）知念崇太内外野手（磐田福田中）猪股李紀中堅手（磐田南部中）等パンチ力と俊敏さを備えた個性が連なる。

感染対策下で野球部を励ました続けた小関雅司校長先生と5年間野球部長として一貫して同窓ファンにご配慮下さった直井勇人部長（両氏とも掛川西）の離任にあたり、お二人と球場で幾度も言葉をお交わした70期望月一男内野手球友会長が「掛西のお蔭様の静岡であり、静岡だけでは勝てない。今後も力を合わせて未来を拓きたい」と感謝を示した。春季県中部地区3戦に勝ち、GWの県大会で夏のシードを獲りに行く。球友会では応援ダンス（70期のザ・ピーナッツを敬い二桁期は湘南GOGOズ、三桁期はどうする瀬名姫ズ）を鏝磨し、皆で夏の扉を開けに行く。



元谷聡志投手（学習院中）



球友応援 GOGO 平均 70 歳代



77 期石山主将が 140 期打線に健健なトス



四番遠藤碧真主将捕手（主審は 98 期折田孝樹捕手）

静岡県東京事務所からの お知らせ

『まんぷく静岡 in 東京』 WEB、SNS & 冊子のご紹介

静岡県東京事務所では、職員自らが取材して集めた首都圏にある静岡ゆかりのお店情報をまとめた冊子『まんぷく静岡 in 東京』を発行。県産品にこだわったお店の熱い想いを紹介しています。

一昨年にはWEBサイトとSNSも開設しました。WEB版では、ジャンルやエリア等でお店情報を簡単に検索でき、スマホがあればいつでも気軽に静岡ゆかりのお店に行くことができます。さらに都内で買える県産品や静岡土産の情報も掲載していますので活用ください。

また、SNSでは、職員がお店を訪問した際の感想のほか、最新の静岡関連イベントや観光情報等も随時配信しています。故郷・静岡を愛する皆様にお楽しみ頂ける内容となっておりますので、是非フォローをお願いします。

今後も静岡応援団を一人でも多く増やしたいと思っておりますので、皆様のご利用と併せ、ご家族・ご友人にも、当コンテンツをお勧めください！

お問い合わせ：静岡県東京事務所
Tel: 03 (52112) 9035
Mail: tokyo@pref.shizuoka.lg.jp
(114期・村川未帆（静岡県東京事務所））



冊子は静岡県東京事務所
で配布（在庫僅少。令和
5年度の改訂版発行に向
けて鋭意準備中！）



WEB、SNSから最新情報を配信中！



Website



Instagram



Twitter



Facebook

公式SNSのフォローをお願いいたします！



WEB版トップページ

編集後記拡大版 アットワンダーJ.G取材メモ

令和に入って初めて天皇誕生日を祝う一般参賀が行われた2月23日、会報編集委員一同は、神保町にオープンした古書店「アットワンダーJ.G」前に集結。オーナーの鈴木宏さん（91期）にお話を伺った。

見原：出版も電子版が普及しつつあるなか、取って紙媒体の新店舗を始められた経緯をお教えください。特別な出来事があった、あるいは自然な流れだったのでしょうか？

鈴木：自然な流れです。今は電子的な情報が行き渡る時代と感じています。その（電子の）世界の中に、この世の全てのものがある、と錯覚している、あるいは電子の世界の外に興味が無い若者が出てきている。それに対するカウンターになりたい気持ちがあります。

そのような折、パチンコ屋（店名は人生劇場）さんだった場所を譲り受けることになりました。相応の空間があることなら、紙のものがいっぱい広がっているスペース作りができるのではないかと。今年の春、コロナは5類になる。コロナ禍へのスーパーセーブになれるかなという希望だった、偶然が重なったり、そういう流れです。

鈴木：はい。そこから文学、人文等の書籍を選びました。ですが、ベースになった本のなかに、静高OBからお受けした処分品もあります。それらの中には哲学的な島田：店内の書架の前に立った時、趣味のいい方の書齋に伺ったような印象を受けましたが、そういうことだったんですね。

鈴木：静高で教鞭を執られていた石原信行先生、93期くらいの方も教わったことがあるかもしれません（注：昭和52年3月まで在任。会報93号9頁に写真あり）。先生は10年くらい前に亡くなり、お嬢様が本の処分を依頼されたのです。英語の先生でしたが、日本の幅広い分野、哲学、宗教、文学に関する書籍が軽トラ3台分あり、何度か往復しました。

島田：俳人の恩田侑布子さん（91期）と一緒にお寺で勉強会に参加していた方では？

鈴木：はい、そうです。我々が扱えない、その勉強会の録音テープもいっぱいありました。先生は、この国の中で仏教や禅が果たしてきた役割を知りたかったように見受けられました。

蓄積された知識を次世代に回せるということを知らない人がいる。そういうお宅を訪問し書籍をお譲りいただく作業を通して、学者になるわけではないが、働きながらテーマを追求していた人が沢山いたのを知りました。

（物として）残していくことで、先人が気づいたあることを、知らないより、知った上で考える方が

楽しいとわかる。それを若い世代に伝えていきたいです。

八牧：本来は公共団体がやらなくてくさっていると思います。

島田：整理したい人、整理して新しいことを始めたい人にとって、良いことですね。



広く落ち着いた店内。数限りない蔵書はジャンル分けされ手に取りやすく時間を忘れて本の森が散策できる。



新店舗開店後も多忙が続く中、取材に応じてくださった店主・鈴木宏さん

中沢：映画専門誌を見て感じましたが、昔のことに会いたくてもアウトプットがないと叶わない。そのお手伝いをされていますね。

関東同窓会の古書コミに集まった古本は大手チェーン店に持つて行くのですが、J.G.のバーコードがないと買取対象にならないです。

鈴木：僕は大手の方式ではなく、直接お客様からお客様へ渡したい。お客様にはゆつくり店内で過ごし、ゆつくり選んでもらいたいです。

中沢：創業はいつ頃ですか？

鈴木：2008年に始めました。最初は学生たちに良い本を安価で提供したいと早稲田で貸本屋を始めました。儲けより彼らと話をしたり、いろんな会をやったりしよう、そういう本屋です。

子どもの頃は静岡にも貸本屋が何軒もありました。付録付きの月刊誌なんかはとも買えなかったから、助かる存在でした。古書店なら、静岡伊勢丹の向かいに大きな店があったのを皆さんもご存知では。

八牧：文教都市であり、歴史も古い。大学もありインテリ層が存在する静岡だから、大きな古書店が存続できたのでしょうかね。

鈴木：古本屋という商売は、ある方の知識、教養、趣味を次の方に伝える仕事。今後もそういう機能を発揮できれば嬉しいです。

十十十

それから我々は、しばし広大な本の森を散策した。

別れ際に鈴木さんは「僕は同窓会に期待しなくていいと思ってます。懐かしいなと思っても、今はいもう懐かしいあの頃の自分ではないのですから」「同窓会に特別な企画は」いらないうすよ。若者は今をどう生きるかに一杯で、高校時代を懐かしむ暇はない。ふと懐かしいと思う年齢になったときに同窓会がそこにあるだけで、じゅうぶんです」と話してくれました。

この日、視界に真っ先に飛び込んできたのは大学時代の専攻関

連の書籍だったが、購入した本はそれとは無関係。確かにもうあの頃の自分ではない……

だが、私は鈴木さんにこう食いがったのだ。「私は鈴木さんのお考えとは別の経緯をしました。島田君と私は同期ですが、静高時代に会話したことは一度もありません。でも幹事学年の仕事や異業種交流会をきっかけに、坂井則之君を交えた95期トリオで恩田さん（前出）の書籍の校閲をするに至りました。関東同窓会にはそういう出会いもあります」

鈴木さんに謝意を告げ、4人はアボカド料理のお店へ。文学、世界情勢、同窓会のこれからと尽きない話題。これぞ大人の部活（新聞部かな）と密かに悦に入り、リアルでの再会を期して解散した。快速電車で揺られながら、私は呉服町の純喫茶「白鳥」にたむろしていた静高時代を思い出した。

（編集委員・見原記）

松本零士作品も！大谷翔平が愛する『スラムダンク』も！

デルヴォー展の図録から半世紀前の入場券が！古書の余録。

ハリウッド最盛期の映画専門誌、表紙を飾る女優達にうっとり。

希有本『ベートーヴェン・音楽の哲学』を購入。品揃えに拍手！

鈴 与 株 式 会 社

代表取締役会長 鈴木 与 平 (76期)
代表取締役社長 鈴木 健一郎 (110期)

〒424-8703 静岡市清水区入船町11-1
TEL 054 (354) 3015 (秘書室)
京浜支店 〒140-0013 東京都品川区南大井6-22-7
TEL 03 (6404) 2100

「何宗ですか?」「ハイ、皆之宗(みなのかう)です!」

~いざという時、頼りになるかかりつけのお寺~

普 門 庵

臨済宗大徳寺派 住職 見城宗忠 (90期)

206-0801 東京都稲城市大丸 857
Tel : 042-378-1707 Fax:042-379-8647
URL : <http://www.fumon-an.jp>



建築・不動産活用などのご相談はどうぞ

ArchitectS Office

一級建築士事務所

石川 雅英 (94期)
Masahide Ishikawa

108-0071 東京都港区白金台 3-2-16-201
T 03 - 5422 - 6525 HP www.rvstone.com
architectsoffice@cotton.ocn.ne.jp

伊豆の旬



www.yanmo.co.jp

小林 秀男 (97期)

伊豆の旬 やんも

<南青山> 東京都港区南青山5-5-25 T-PlaceビルB1

TEL:03-5466-0636 (日曜日のみ休)

<丸の内> 東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビルB1

TEL:03-5224-3322 (定休日なし)

仕出し厨房 やんも

<大手町> 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビルB1

TEL:03-3278-7272 (土日祝定休)

同窓会で人の輪を!!

野方重人法律事務所

弁護士 野方 重人 (77期)

〒101-0045 千代田区神田鍛冶町3-7-3
藪下ビル6F
(TEL) 03 (3251) 2348
(FAX) 03 (3257) 0820

ANOMADO

『アジアの窓』編集長

中立公正な言論ニュース・広場

八 牧 浩 行

〒105-0004 東京都港区新橋2-20-15
新橋駅前ビル1号館305-1

TEL 03-3573-7501 FAX 03-3573-7503
携帯 090-2653-9469
E-mail hiroyuki.yamaki@mbrnifty.com

相続税・法人税・所得税などのご相談はどうぞ!

鳥 巢 修 税 理 士 事 務 所

税理士 鳥 巢 修 (89期)
OSAMU TOSU

〒167-0041 東京都杉並区善福寺1-30-17
TEL 03(3396)3858 FAX 03(3396)3848
E-mail : tosu@mtj.biglobe.ne.jp

* 昼 2 時より夜11時まで診療 *

(医) 名泉会タカラ歯科診療所

代表 藁科名雄 (87期)

東横線 中目黒下車 徒歩 5分
TEL 0120-376-480
FAX 03-3710-8847
〒153-0051 目黒区上目黒 2-18-13

新店舗アットワンダーJG 開店!



見るだけで楽しい120坪の大型書店
失われていく記憶と、それを愛するすべての人に

文学/歴史/思想/哲学/映画・芸能/音楽/美術/サブカルチャー
アニメ/ゲーム/アメコミ/古書漫画/スポーツ/ポスター/紙物他

アットワンダー本店
地下鉄「神保町」JA1
神田神保町2-5-4
関箱書ビル1・2F

アットワンダーJG
地下鉄「神保町」A5出口出で左
サイゼ/ヤ真由がる
神田神保町1-4-5
日商第一ビル1F

アットワンダー本店も通常営業
書籍 家財 雑貨等の買入れ、整理、片付けの
ご相談はお気軽に! wonder@atwonder.co.jp
アット@ワンダー 0120-154-727 店主:鈴木宏 (91期)

ブックカフェ二十世紀 (本店3F) にも
ぜひお立ち寄りください。
←イベント等詳細はホームページへ



2022年度 静中静高関東同窓会 年会費拠出者一覽

(667件) 多くのご支援をありがとうございました

73	72	71	70	69	68	67	66	64	62	61	60	59	55
小沢忠樹 青山勇、大塚恒、狩野和男、勝呂清、 田澤義彦、福地彊、本田豊 原善三郎、山本正三 稲森慎二、清水照彦、山崎和夫 寺尾壽夫 新井彰、遠藤榮、塚本光彦、野澤正憲 菊田聰裕、杉山忠、原野谷朋司、 村松武司、茂木爲男 朝倉勇、遠藤一彦、川上剛二、鈴木敏行、 向井久和 荒谷じつ子、宇田貞子、大石康博、 佐野川好母、菅野寛也、鈴木昭夫、 瀬口寿一郎、吉崎英輔 天野高廣、植村守代、倉田聰、谷川治弘、 原久彌、原野谷和弘、諸田實、山下泉 石山博、大場良臣、小佐野榮雄、片山智司、 河合静雄、清水令一郎、白石通子、杉田順、 清智、関哲男、滝口登、調子達郎、 富田三樹、中村嘉男、中村龍二、仁科俊介、 牧野甫、増井満男、望月泰弘、山田恒男 石川宏、伊藤勝、浦田彰、遠藤幸男、 奥村鋭一郎、栗田甲子男、小池啓治、 後藤弘枝、諏訪逸郎、富野壽、長倉眞一、 前田利彦、的場徹、村松綏啓、望月祐言、 山田卓夫、山本雅司 池ヶ谷寿夫、今泉烈、加来義信、近藤薫、 櫻井正之、佐野令而、清水雅彦、仁藤宏次、 増田欽一、村手正之、八木猛、山口公子、 山田勝、渡邊繁 大木茂、小川忠夫、岡本修、鈴木聰男、	鈴木豊、鈴木良明、大長義信、 高橋美智子、遠山敦子、仲川信正、 松永烈、三浦英夫、山梨由記、山全登 井出宏嗣、大嶽隆司、角谷治子、 見城尚志、佐藤薫郷、佐藤鐘司、塚本豊、 西村泰一、萩原茂春、藤原經史、望月保、 森田史雄 安達嗣雄、今田肇、小栗悠嗣、勝亦正安、 川面忠男、笹尾光彦、佐藤修二、 本多幸吉、村松友規、柳澤弥太郎 青島大太郎、國保能彦、坂内三容、 清水澄夫、鈴木高夫、田口紘一、 塚本平二、山岸誠二 安達忠良、石橋三洋、石間啓一、 石山建一、伊藤達雄、岩崎敏宏、 梅屋尚子、大岩蓮、勝間田正喜、 栗田收司、後藤嘉代、小長井奎幸、 佐藤昌男、清水雅尚、中村邦彦、 野方重人、宮原諄二、森正毅 石井博之、石田久徳、石原庸雄、 石山喬、井石明宏、今村史子、内田信、 小澤安則、小田島鏡子、小林俊、 白木桃子、杉原進、富部保、永田明司、 増田勲、安間孝信、安本恭介、山本勇夫 井出雅子、岩崎洋子、上田尚亮、 江川豪雄、大石直人、太田節一、 小川郷太郎、熊井秀則、小林陽三、 杉本祥勝、村田吉隆、山本勝 秋山幹男、飯田早苗、池ヶ谷吉人、 小木哲朗、風戸学、柴田裕、鈴木勝、 長島孝太郎、松澤公夫	80	79	78	77	76	75	74	74	74	74	74	74
伊井和良、大沼信之、鈴木一郎、英嘉明、 松永旭、森下鉄夫 青木健一、青木式、池田整、石川倫男、 石川康宏、石津保彦、伊東惇、稲本伸子、 岩崎年史、遠藤良治、大内修、大村多聞、 小野宏、金子恵子、北雄二、篠原温、 鈴木良彦、多賀谷秀保、伊達新之輔、 堀内淳司、山内昭一、山本恵章、 八牧浩行、吉田昌史 大石高志、渋谷治美、鈴木程久、 富永武則、中村豊、西野直樹、野呂克実、 馬場信幸、渡水実根子 生駒光博、石川直子、大隅恵子、 小澤治夫、貞弘丈佳、塩谷立、杉山篤史、 杉山順一、多賀谷保治、成田恵理子、 野口洋一、吹井承三、藤田佳子、 古谷良樹、松永重雄、吉野文江 池田幸司、石黒和紀、伊東成師、 内野直樹、遠藤とも子、小梁吉章、 小堀政雄、佐久田博司、杉山由紀子、 高橋成彰、竹内二士夫、竹内裕子、 竹田徹、増井喜一郎、松本隆史、 三上嗣夫、望月光、安本敬、山本政博 青山隆一、江川彰子、近藤孝邦、篠宮章、 鈴木正俊、長島正、成岡和美、 野口ひろみ、八牧暢行 浅羽伸人、安倍敏陽、石神葉子、 石川嘉和、泉洋子、植村恵美子、 片山修、小長井一男、高橋宏、 坪内和人、林暁、平岩正史、水上浩司、 山本信也、藁科名雄													

- 96 大村康二、岡村昌俊、片山秀、近藤秀樹、塩沢潤、田中育恵、安本隆晴、矢部みはる、山田裕道
- 95 池田磨佐人、海野秀之、加賀谷正敏、北村美佐子、北村佳久、新村暢宏、多々良勝仁、平川慶子、堀弘明
- 94 秋山治彦、大村健二、栗山伸一、佐野雅明、宗野和夫、深沢英昭、森田悦三、山下雅子、芦澤康夫、生田英一郎、市川浩次、伊藤義和、岩崎哲也、小原裕子、倉沢千明、栗山雅之、佐野靖宏、鈴木忠善、土崎弘子、伴野昌厚、中村未弓、原幸彦、船木真由美、村松秀明、森義巳
- 93 浮田聡、浦野利信、岡野素之、川村朱美、清水篤、白石由加子、杉山公敏、永田俊介、蓮井慶子、服部泰子、山川百合子、渡邊典彦
- 92 青木洋、石川隆、稲葉繁、小澤薫、小野泰洋、勝又健次、志賀浦伴昭、渋谷亮太、野毛宏、渡辺晃一郎
- 91 青島正剛、荒井軍治、飯嶋淑子、石部久雄、稲葉宏、海野元良、大石修一、岡村仁、小川志郎、亀山晴信、木村純子、木村寿克、栗原千朗、坂本淳一、杉山直治、鈴木真次、鈴木裕子、竹谷紀彦、谷口寛明、榑井隆、照井徹、野中保晃、松永啓、松野敦子、矢部龍太郎、山内隆史、吉永陽子
- 90 石井克昌、上田洋平、牛見豊、内田真理、太田洋行、大棟順子、岡部正明、片岡敏晃、菊入弘行、菊入みゆき、島田淳、曾根正裕、遠又寛行、永江総宣、堀川和裕、増田正樹、見原万智子、山本好久、吉元幸子
- 89 青木伸、青木正樹、朝比奈正人、芦野光憲、海野仁志、大澤理、鏑木康志、近藤浩史、鈴木伸子、鈴木里絵子、田形昭乃、中尾安志、細澤優、山本茂未、山元一

- 97 小笠原英弘、岡村浩志、小澤靖弘、窪田誠、甲田直美、清水智人、杉田太志、高林径子、中沢京子、大石健二、村上孝子、山本浩志、吉田史
- 98 青島矢一、青島洋子、稲葉克哉、大利和也、川又竹男、小谷邦子、鈴木麻衣子、田旗裕也、野元知子、馬場厚生
- 99 五十嵐寧、小西秀雄、恒光隆法、長谷川和也、牧田秀幸
- 100 穴澤敦子、漆畑裕樹、大石智子、櫻井里子、夏目幸一郎
- 101 佐藤敬子、佐藤友男、田村晋一、向井良
- 102 海野佳幸、大村卓矢、日下雄一郎、鈴木恭介、向田敏弘、山下史記、山本数馬
- 103 吉崎亜由美
- 104 山中彰人、山本昌弘
- 105 安部啓、木本雅彦、小島太郎、竹田仁
- 107 小澤康裕、松永鋭太郎、望月崇
- 110 小嶋亮太、鈴木健一郎
- 111 野村陽子
- 112 加藤剛史、竹田浩
- 113 野木森明香
- 114 岩崎衣里子
- 115 土屋晴裕
- 123 西口雄基

転居されたら住所変更を！
ホームページ「お問い合わせ」にある変更フォームのほか、メール、事務所FAXでも受け付けております。

◆ホームページ閲覧状況
2022年度下期
(10月～3月)
訪問者 6,649人
ページアクセス 25,134回
◆会員現況
3,534名(38名減)

S お問い合わせ
住所変更のご連絡
会報の送付を依頼したい方、送付先を変更される方は、以下のフォームよりご連絡ください。
新規登録・住所変更連絡フォーム

年会費(維持費)納入方法のご案内

(1) 払込票を使う
従来より会報と同送させていただいているゆうちよ銀行専用「払込取扱票」にて、お近くの郵便局内ATMもしくは窓口でお振込みください。

(2) 口座から口座へ電信送金
ご自身の銀行口座より左記の関東同窓会口座を指定し直接送金できます。(各行各サービスにより手数料がかかる場合があります。)
依頼人名やコメントなどの画面にて、必ず卒業期の数字入力をお願いします。


★ゆうちょ銀行
〇二九(ゼロニキユウ)店
当座 0009969
★みずほ銀行
江戸川橋支店
普通 8078861

(3) オンライン決済WEBサービスを利用する
昨年、収納代行を手掛けるウエルネット(株)と提携し、関東同窓会専用の年会費決済システムを構築、導入しています。

★クレジットカード... Visa、Master
★支払秘密書... ウエルネットが提供するスマホ決済アプリ。銀行口座やコンビニ、銀行ATM、ネットバンキング等からチャージして支払います。
★コンビニ決済... 手続き後5日以内に、ご指定のコンビニに行き、店頭で支払います。
(ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セイコーマート、デイリーヤマザキ)
★ペイジー・ネットバンキング... 全国の銀行が利用可能。事前にご利用の銀行にてご自分の口座がネット送金できるように登録が必要です。

オンライン決済の利用状況をみながら、近い将来は払込票の送付を年一回(春)に縮小の予定です。ご利用に際し不明な点がございましたら関東同窓会にメール等でお気軽にお問い合わせください。
(副会長・中沢記)

オンライン決済手続きへ



非破壊検査のトータルサプライヤー



日本マテック株式会社
NIHON MATECH CORPORATION

代表取締役社長 **松島 勤** (84期)

東京本社：東京都新宿区若葉 1-21-17 3F
TEL: (03) 3221-7531 FAX: (03) 3221-7240 (〒160-0011)
大阪支社：兵庫県高砂市春日野町4-35 グランメエール435 1F
TEL: (079) 447-1561 FAX: (079) 447-1556 (〒676-0814)
<http://www.matech.co.jp/>



株式会社 **スマートグラフィックス**

代表取締役社長 **福田浩志** (97期)

本社営業部 〒171-0052 東京都豊島区南長崎 3-34-13
TEL. 03-3953-1184 FAX. 03-3953-1194

工場 〒335-0036 埼玉県戸田市早瀬 2-22-10
TEL. 048-422-3660 FAX. 048-422-3661



静岡のおでんとお酒と黒はんぺん



静岡おでんガッツ

☎ 03-6273-8663
🌐 <https://shizokaoden-guts.red/>
🐦 @ShizokaOdenGuts
📍 静岡おでんガッツ

〒169-0075
東京都新宿区高田馬場 2-19-8 阿部ビル1階
代表 市川 徳二 (112期)

高きを仰ぎて心を繋ぐ
さあ一緒に時空を超えて
吾等が聖地を歩みましょう



岳南球友会

会長：望月 一男 (70期 野球部)
HP「岳南球友会」

連絡窓口：080-5580-2958 (94期 松永)
メール：k30.ska-1213m@ezweb.ne.jp



激動世界！ 正確な真相ニュースで「平和」に貢献

相談役・主筆 **八牧 浩行** (82期)
yamaki@recordchina.co.jp

本社 東京都港区新橋2-20-15 新橋駅前ビル1号館3F
TEL 03-3573-7501(代) FAX 03-3573-7503

幼児教育に新しい風を



こぐま会
幼児教育実践研究所

代表取締役 **久野泰可** (83期) 取締役 **久野淑子** (83期)

本部 東京都渋谷区恵比寿西1-20-6 K&S恵比寿ビル7F
TEL 03-3463-3815



Lighting for Your Safety

Koito

<https://www.koito.co.jp>

安全を光に託して
人とクルマの安全は私たちの願い

本社：東京都品川区北品川5丁目1番18号 TEL:03-3443-7111
国内工場：静岡、榛原、相良、富士川、九州
海外工場：USA、メキシコ、ブラジル、UK、チェコ、中国、台湾、タイ、インド、インドネシア、マレーシア

小糸静高会 会長 大嶽隆司(74期)